

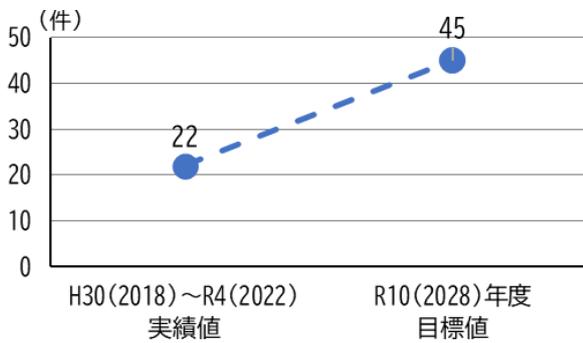
6 活力とにぎわいのあるまちづくり

歴史資源を活用した観光振興により、経済の好循環を促し、にぎわいのある住み続けたいと思える町をつくる

数値目標

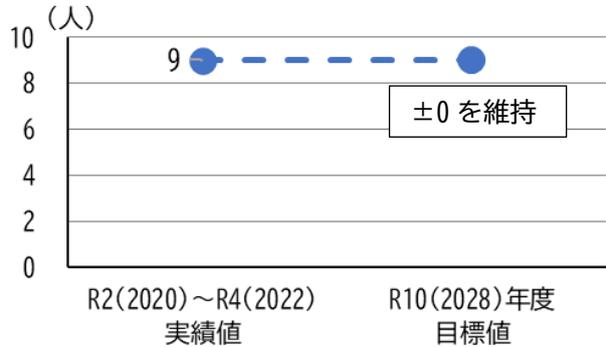
◇数値目標6(1)

王寺町内での新規起業件数 [累計]



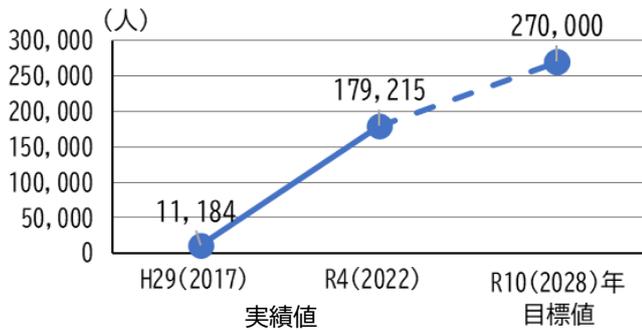
◇数値目標6(2)【2(1)再掲】

人口の社会増(転入者数-転出者数) [累計]



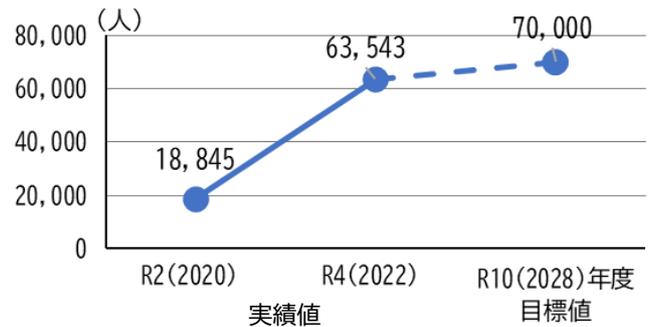
◇数値目標6(3)

町の観光入込客数



◇数値目標6(4)

町内宿泊者数



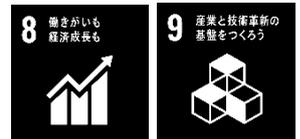
基本的方向 18 活力の創出

具体的施策 36 産業・雇用

具体的施策 37 定住促進

基本的方向 19 交流の促進

具体的施策 38 観光・交流



具体的施策 36 産業・雇用

関連する条例・分野別計画等 王寺町男女共同参画計画

目指す姿

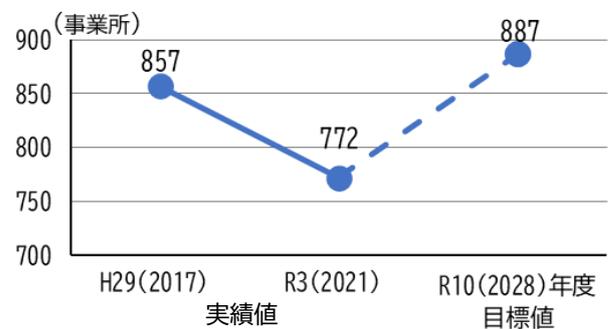
魅力ある商業機能が整い、活気にあふれるまち

交通の利便性を生かすとともに、周辺観光地との連携のもと観光産業の振興が図られ、地域住民をはじめ、観光客、事業主が魅力を感じる、地域に根ざした活力ある商いのまちになっています。

重要業績評価指標 (KPI)

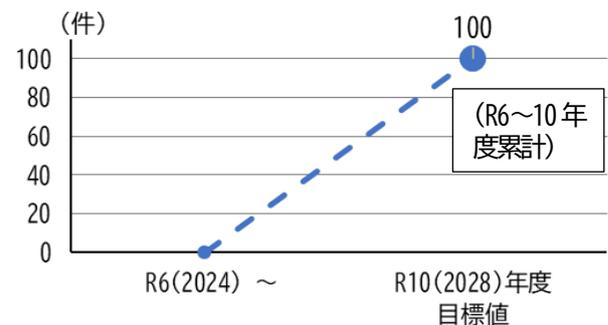
◆KPI18-1

町内の事業所数



・補助指標

開業届提出件数



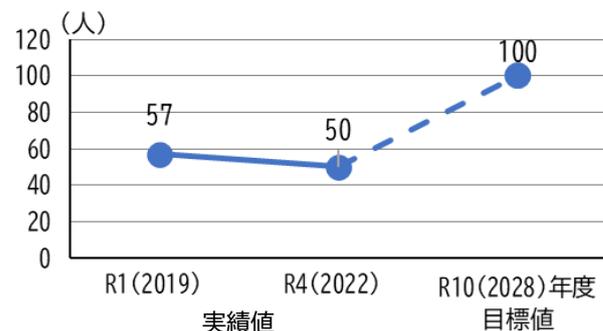
◆KPI18-2

町内の事業所の従業員数



・補助指標

町内で行われる「就職説明会の参加者数」



現状と課題

●にぎわいのあるまちづくり（産業活性化）

新型コロナの影響もあり、令和3（2021）年度には町内の事業所数・従業員数ともに減少しました。王寺町では第3次産業が90%以上を占め、王寺駅周辺に事業者が集積している現状から、王寺駅を中心とした集客と消費を喚起する取組を行い、賑わいを創出していく必要があります。令和7（2025）年に開催される大阪・関西万博等を契機に、観光産業をはじめとした事業者を育成していくことが求められます。

令和2（2020）年8月にはホテル「東横INN奈良王寺駅南口」（客室数191室）が開業し、周辺観光地との連携による、宿泊滞在型の観光を推進するとともに、ホテル周辺の飲食事業者等とも連携を図りながら、王寺駅周辺のにぎわいを創出する取組を進めています。

また、王寺町の新たな特産品として遊休農地等を活用した「オリーブプロジェクト」を産学官金農福連携により進めています。さらに、木製品ブランド「OJICHO WOOD」事業は、陽楽の森（王寺町畠田から上牧町にひろがる里山林）を拠点に行われ、間伐材等を利用した木工品の商品開発と製造が進められています。これらをふるさと納税返礼品への登録などにより、町の特産品に育てていくことが必要です。

●働きやすいまちづくり

王寺町地域交流センター内にある「まっち☆ジョブ王寺～ハローワーク～」や王寺町女性活躍支援センターを活用して、就職相談や職業紹介、起業セミナー等を一体的に行っています。また、令和4（2022）年12月、リーベル王寺西館1階に民間のテレワーク施設「o-terrace（オーテラス）」を誘致しました。今後は、デジタル技術を活かし、女性、高齢者、障がい者を含め、多様な働き方を推進できる環境づくりが重要です。

具体的な取組

◆ にぎわいのあるまちづくり

・ 起業の支援

商工会（経営指導、法務）、金融機関（融資、健全経営）、不動産業者（店舗確保）と連携して起業家の発掘と育成を行い、町内での起業促進に取り組みます。また、王寺駅前に誘致したテレワーク施設「o-terrace」を拠点として、デジタル人材の育成やビジネスマッチング、地域の情報発信（FMラジオ、SNS）に取り組みます。

・ 観光振興による商業の活性化（王寺駅周辺の賑わい創出）

周辺観光地や交通・宿泊事業者、商工サービス業と連携し、王寺駅を拠点とした周遊観光を推進することにより、王寺駅周辺の賑わいを創出します。

王寺駅周辺で集客事業（マルシェ、バル、音楽、鉄道イベント、講座・セミナー等）を展開し、「集客」と「消費」の好循環を生み出し、域内経済を活性化します。また、「全国だるまさんがころんだ選手権大会」や「王寺ミルクキーウェイ」などのイベントに町民や町内事業所の参画を求めていくことで、商工業の活性化を図るとともに、イベント自体を継続的に実施できる仕組みを確立します。

・特産品の創出

町有地法面や遊休農地を活用したオリーブ等の栽培や加工品の販売を促進するとともに町内障がい福祉事業所がオリーブの収穫・仕分け等の作業に加わるなど、農福連携により複合的な雇用創出を図ります。また、間伐材を利用しデザイン性に優れたダルマのオブジェや町公式マスコット雪丸をデザインしたグッズの製作など特産品の創出を推進します。

◆ 働きやすいまちづくり

・国（ハローワーク）・県・町の連携による働きやすい環境づくり

ハローワーク等との連携のもと「企業合同就職説明会」、「就職支援セミナー」や県が支援する「起業セミナー」について、継続して開催できるように回数や内容の充実に取り組みます。また、広報紙、SNS等の情報発信を強化するとともに、子育て世代の参加が多いイベント時に相談窓口ブースを設けることにより、気軽に就職相談できる環境づくりに取り組みます。

・多様な働き方の推進

王寺駅前のテレワーク施設「o-terrace」と連携し、ビジネスの場で役立つITスキルを身に付けるためのプログラミング学習講座等を実施することで、デジタル人材の育成に取り組みます。特に中小企業は、IT化が進まずデジタル人材が不足することから、フォローアップとして、ハローワーク、商工会、金融機関等と連携したビジネスマッチングなど、誰もが自分らしく働ける環境を創出します。

高齢者が長年培ってきた豊かな知識や技能を地域で生かすことができるよう、王寺町シルバー人材センターへの支援を通じた就業機会の確保等に取り組みます。

また、町内の障がい福祉事業所や奈良県等と連絡調整を行いながら、障がいのある人が地域で活躍できる環境や仕組みづくりに取り組むことで、多様な働き方を推進します。

役割分担

	<p>住民の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●産業振興によるまちづくりに理解を深めます。 ●できる限り町内で商品を購入するようにします。 ●起業や就職について町（公共機関）の相談窓口や支援制度等を積極的に活用します。
	<p>地域の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●産業振興によるまちづくりに理解を深め参画します。 ●地域内のイベント等で、地域内の商店等と連携します。 ●地域の中で起業や就職に関する情報を共有、交換します。 ●地域課題を把握し地域内で必要なサービスを検討します。
	<p>団体、事業者の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源を生かした事業展開を進めます。 ●専門的な知識や情報を提供します。 ●女性、高齢者、障がい者に多様な就労機会を提供します。



具体的施策 37 定住促進

関連する条例・分野別計画等

王寺町立地適正化計画／王寺町空家等対策計画

目指す姿

住み続けたいと思えるまち

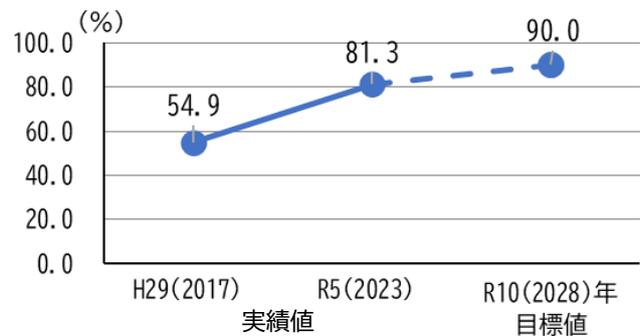
王寺駅を中心に奈良県西和地域の中核として、「にぎわいある中心拠点」、「身近な自然環境」、「ゆとりある居住環境」、それぞれの魅力が相互に高まるまちになっています。

重要業績評価指標（KPI）

◆KPI18-3

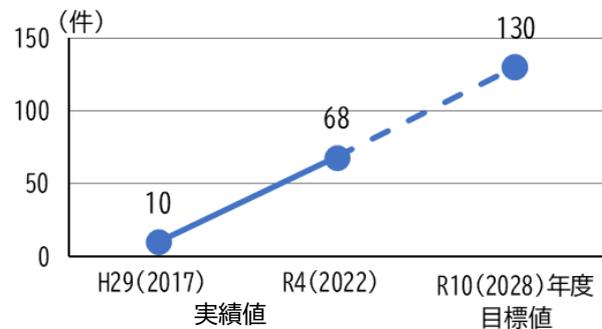
王寺町に住み続けたいと思う人の割合

(住民アンケート調査で「王寺町に住み続けたい」と回答した人の割合)



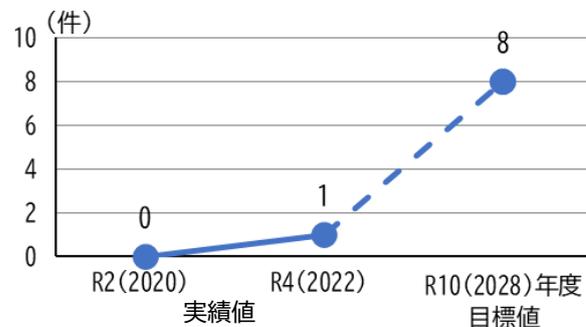
・補助指標①

三世代ファミリー定住支援補助金利用件数 [累計]



・補助指標②

移住支援金利用件数 [累計]



現状と課題

●住みやすいまちづくり

人口減少や高齢化が進展していく中、高齢者をはじめとする住民が公共交通により、医療・福祉・子育て支援・商業等の生活サービスにアクセスできるなど、日常生活に必要なサービスが身近に存在するコンパクトシティの考え方に基づくまちづくりが求められています。

都市機能が集積した中心市街地の活性化とその活力が町内の各地域に波及され、また、各地域の活力が中心市街地に流入し、全体の活力がさらに増幅するというサイクルの実現を目指す必要があります。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により高まりつつある地方移住のニーズへの対応が必要です。

●移住促進

平成 28（2016）年度から、北葛城郡 4 町でスケールメリットを活かした広域圏での取組として「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」を設立し、令和 2（2020）年度までの 5 年計画として移住施策に取り組んできました。また、三世代ファミリー定住支援補助金、移住支援金といった移住・定住に関する支援施策や子育て支援施策の展開により、進学や就職、結婚や子育て、定年といったライフステージに応じた移住・定住に関するニーズに対応する必要があります。

具体的な取組

◆住みやすいまちづくり

・「王寺町立地適正化計画」に基づく施設等の誘導

人口減少の中にあっても、一定のエリアにおいて人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティを確保することを目的に、平成 30（2018）年 3 月に策定した「王寺町立地適正化計画」における施策・事業の実施状況について分析及び評価を実施したうえで、同計画に基づく居住誘導区域・都市機能誘導区域への施設等の誘導と拠点整備を進めることにより、居住地への誘導を図ります。

また、中心拠点である王寺駅周辺への、商業と交通の新たな複合施設など生活利便施設等の誘導・整備を図るとともに、地方拠点である畠田駅周辺へのバスターミナルや交番をはじめ、買い物施設（スーパー）など生活利便施設の誘導を図ります。

◆移住・定住促進

・ライフステージに応じた移住・定住施策

「教育のまち王寺」の基盤となる 2 校の義務教育学校における充実した学びの環境を提供するとともに、子どもの頃から自分たちの住む町の歴史や将来のまちづくりについて学ぶことで、地域を誇りに思う気持ちの醸成を促進します。また、多くの世代の交流を促す、様々な交流・体験イベントなどの定期的な実施により、地域の魅力に触れて郷土愛を育むための取組を推進します。

さらに、保育施設の計画的整備や母親同士の交流、相談の場の充実や出産から子育ての切れ目のない環境整備など、子育て支援の充実を図るとともに、「三世代ファミリー定住支援」に引き続き取

り組むことで、移住・定住を促進します。

役割分担

	住民の役割	<ul style="list-style-type: none"> ●定住促進に関心を持ち理解を深めます。 ●定住促進事業（支援制度等）を積極的に活用し、バランスの取れた人口構成に寄与します。 ●移住者を受け入れ、歓迎します。
	地域の役割	<ul style="list-style-type: none"> ●定住促進事業に関心を持ち理解を深め参画します。 ●地域の中で定住促進事業（支援制度等）の情報を共有、交換します。 ●移住者を受け入れ、歓迎します。
	団体、事業者の役割	<ul style="list-style-type: none"> ●専門的な知識や情報を提供します。

具体的施策 38 観光・交流

関連する条例・分野別計画等 王寺町文化財保存活用地域計画

目指す姿

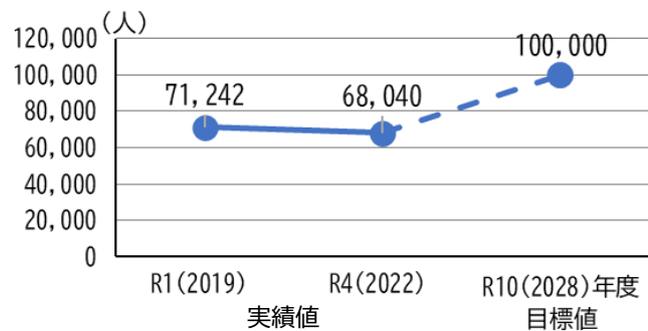
和の精神が息づくおもてなしのまち

豊かな自然や歴史文化遺産等、まちの観光資源を磨き上げることで、多くの人々が訪れるまちになっています。また、住民が地域への愛着と誇りを持ち、もてなしの心で観光客を迎えることで、人々の交流によるにぎわいと活気が生み出されるまちになっています。

重要業績評価指標（KPI）

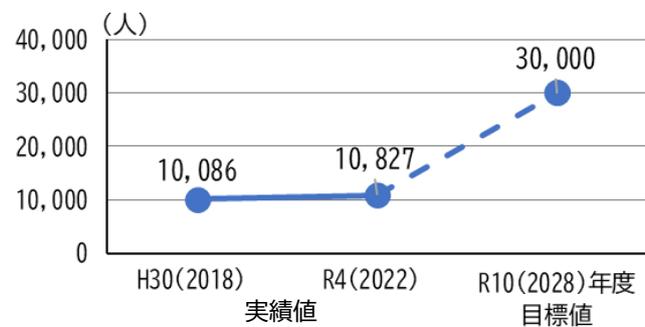
◆KPI19-1

明神山の来訪者数



◆KPI19-2

達磨寺来訪者数



現状と課題

●観光の魅力づくり

町の重要な観光スポットである達磨寺では、寺の由緒を表現した屏風絵《片岡山のほとり》の複製画を作成し常設展示しています。奈良県指定文化財である達磨寺方丈は保存修理工事を終えました。今後は、(一社)王寺まちづくりと連携した「達磨寺ファンクラブ」の運営など、歴史的空間としての達磨寺方丈の魅力さをさらに高め、活用していくことが重要です。

明神山水神社は、令和2（2020）年6月『葛城修験』一里人とともに守り伝える修験道はじまり地』の構成文化財として、日本遺産に認定されました。360度の歴史的眺望を見渡せる明神山の魅力発信のため山頂にライブカメラを設置し、リアルタイムの眺望を配信しています。また、明神山参道は登山者の安全性の確保のため、参道の一部区間の拡幅と山頂付近の整備を行いました。さらに、登山者以外の方が、明神山山頂で楽しめる取組として、マルシェや、アート展などの新たな企画にも取り組んでいます。また、

明神山烽火プロジェクトとして、飛鳥時代の烽火(のろし)による情報伝達拠点と想定される明神山から烽火(のろし)を上げるプロジェクトのことで、明神山からの烽火が見える範囲のマップの作成や烽火で明神山と飛鳥を結ぶ烽火リレーなどの企画を実施しています。

●広域観光と交流人口の拡大

令和2(2020)年8月に開業した「東横INN奈良王寺駅南口」は、コロナ禍においても90%以上の稼働率があり、月平均約5,000人が宿泊されています。令和4(2022)年には、町観光協会と連携したコンセプトルーム「雪丸のおへや」を開業し、人気を博しています。また、奈良県の「サイクリストに優しい宿」に登録されるなど、積極的な取組が稼働率の向上につながっています。

ホテル開業を契機に、周辺観光地との連携のもと、宿泊滞在型の観光を推進することで、域内経済の活性化につなげるのが重要です。また、新たなツアー企画の創出に向けて、聖徳太子ゆかりの大和郡山市、生駒郡の近隣6市町と事業者、大学が連携した「WEST NARA広域観光推進協議会」の活動を推進し、地域のブランド化やインバウンド観光の推進を目指す必要があります。さらに、参画自治体を増やし、エリアとしての魅力を充実させることが求められています。

毎年11月に開催の「王寺ミルキーウェイ」には町内外から多くの人々が来場しています。また、地域住民等が主体となって、「鉄道のまち王寺」にふさわしい鉄道イベントが定期的で開催されています。更なるにぎわい創出に向けて、王寺町商工会をはじめとした団体や企業と連携をとりながら、交流人口の増加につながる魅力的なイベントを継続して実施していく必要があります。

具体的な取組

◆観光の魅力づくり

・文化財等の活用

聖徳太子の愛犬「雪丸」をまちのシンボルとして継続してPRを行うとともに、達磨寺本堂や方丈を利用して坐禅等の体験型プログラムを充実させます。また、西安寺跡や片岡王寺跡等、太子ゆかりの文化財遺構として保存・展示を図りながら、観光資源としての活用を推進します。

さらに、明神山の歴史的な眺望を生かしたバーチャル映像や学習プログラムの開発により、貴重な観光資源として魅力向上を図ります。加えて、オリーブ収穫祭、烽火(のろし)プロジェクト、アート展示など、明神山の新たな魅力を創出するイベントを開催します。

◆広域観光と交流の推進

・イベントによる交流人口の拡大

王寺駅の利便性を生かし、「王寺ミルキーウェイ」や鉄道愛好家による鉄道イベント、駅周辺での食をテーマとしたイベント等を定期的で開催し、王寺町商工会をはじめとした団体や企業と連携をとりながら、イベントの魅力を更に高めることによって、にぎわいの創出につなげます。

・広域観光ルートの形成

宿泊施設と連携し、「王寺町地域交流センター」で開催している歴史リレー講座等、学びの場と聖

徳太子ゆかりの寺を巡るコースを組み合わせた旅のプラン等を検討します。また、明神山の歴史的な眺望を生かした新たな周遊散策コースを検討するとともに、葛城修験道、太子道、近代遺産巡り、古墳巡り等をテーマとした様々な趣味志向に応じたルートを提案します。

・効果的な情報発信

観光、イベント、講演、交通、宿泊、飲食店等に関する情報を提供することができ、県内の物産が揃うアンテナショップ機能を持つ、広域観光案内所の整備に取り組みます。また、広域連携によるプロモーション活動や首都圏観光PR活動等を通じて誘客を図ります。

・WEST NARA広域観光推進協議会を核とした観光振興

大和郡山市、生駒郡4町、王寺町で構成する「WEST NARA広域観光推進協議会」において、さらなるエリア拡大を図り、聖徳太子をはじめとしたエリア内の観光素材の魅力化や連携、情報発信の強化により誘客を推進します。また、同協議会を中心に、関西地域の交通事業者が連携して構築する「関西Ma a S協議会(※)」との連携を働きかけていきます。

※関西Ma a S協議会：関西に主要路線を持つ鉄道7社を運営主体とする関西Ma a S(モビリティ・アズ・ア・サービス)の普及・拡大のための協議会。Ma a Sとは、旅行(おでかけ)単位での移動ニーズに対して、公共交通などの様々な移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済を一括で行うサービスのこと。

・「大阪・関西万博」「町制施行100周年」を契機とした観光誘客

全国から約3,000万人の来場が想定される令和7(2025)年の「大阪・関西万博」に向け、WEST NARA広域観光推進協議会を中心に万博来場者を王寺エリアにいぎなう戦略的な広域観光誘客を推進します。

また、王寺町は、令和8(2026)年2月11日に町制施行100周年を迎えます。この歴史的な節目を町内外にプロモーションし、記念セレモニーや冠イベントを観光誘客に活用することで、町のさらなる活性化につなげます。

役割分担

	<p>住民の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光・交流事業に関心を持ち理解を深め参画します。 ●友人・知人に観光地としての魅力を伝えます。 ●住民による観光地づくりに取り組み、訪れる観光客をおもてなしします。
	<p>地域の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光・交流事業に関心を持ち、理解を深め参画します。 ●観光資源、地域資源の保存、活用に協力します。 ●地域でもおもてなしの心を大切にします。 ●地域の中で観光・交流事業の情報を共有、交換します。 ●景観や環境を保全するための住民間のルールづくりを話し合います。
	<p>団体、事業者の役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客の期待に応えるサービスやおもてなしを提供します。事業者連携による新たなサービスを観光客に提供します。 ●専門的な知識や情報を提供します。 ●集客力の高いイベントと消費を連動させ、域内消費を高める仕組みをつくります。